

派遣留学報告書

	記入日 2025 年 5月 16 日			
所属学部・研究科	法学部4年次(留学開始時点)			
留学先大学	崇実大学校 (国名:韓国)			
留学先学部・学科等名	国際法学部			
在籍身分	短期留学生			
留学期間	2024年 9月 1日 ~ 2024年 12月 3 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: D-2-6			
	ビザ申請先: 駐広島大韓民国総領事館			
	取得方法, 提出書類: パスポート・パスポートのコピー・身分証明書のコピー・申請用紙(オンライン上でダウンロード可能)・証明写真・提携大学先の証明書			
	手続きに要した日数: 10日			
その他必要な事前手続き	医療証明書の取得			
出国年月日	2024年9月1日			
経路	広島空港から仁川空港			
現地での出迎え	☐ 有(・大学関係者 ・その他) ☒ 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	本来、八月の最後の週にオリエンテーションがあったようだが、大学院入試と重なり行けなかった。			
帰国年月日	2024年12月3日			
経路	仁川空港から広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	約400000	円	
	内訳	渡航費	35000	円
		保険料	30000	円
		教科書代(学費)	?	円
		宿舍費	170000	円
		食費,交通費,旅行費,その他生活費	150000	円
3. 授業について				
年 学期	月 日 ~ 月 日			
年 学期	月 日 ~ 月 日			

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	基本的にどの授業も希望したら取ることが可能。
単位互換希望の有無	☐ 有 ☒ 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業が何語で行われるのか、授業・試験の内容などをしっかり把握しておくこと。英語や韓国語など、日本語以外で行われる授業は事前に専門用語などを把握しておくこと授業の理解が進む。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	☒ 大学の寮 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他 ()
住居の広さ	約14 m ² 同居人の有無 ☒ 有 (1人) ☐ 無し
住居に附属する設備	☒ 電気 ☐ ガス ☒ 水道 ☒ 給湯 ☒ シャワー ☐ 風呂 ☒ 水洗便所 ☒ 暖房 ☒ 冷房 ☐ 台所 ☒ 食堂 ☐ 固定電話 ☒ インターネット ☒ その他 (コンビニ、ジム、洗濯室、読書室)
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約17000 円
住居を決定した方法	☒ 留学先大学の紹介 ☐ 友人・知人の紹介 ☐ 不動産業者 ☐ その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	寝具は自分で買いそろえなくてはならないため、事前に寝具売り場をチェックしておくor日本から持っていく等計画を立てておく方がいい。基本二人部屋なので相手の生活も考えた生活サイクルを送るべき。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	☐ した ☒ しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	☒ 掛けた ☐ 掛けなかった
掛けた場合	☐ 日本 ☒ 留学先国 ☐ その他 ()
掛け金は	年間 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()
留学前後での予防接種 の必要の有無	☐ 有 ☒ 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	☐ あった ☒ なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	日本の様にコンビニ等で簡単に薬が手に入るわけではない。
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	韓国は冬になると急激に冷え込むため防寒対策を日本にいる時よりも意識して考えるべき。市販薬がほとんど売られていないため、日本からある程度持ってきた方がいい。

(3) 危険を感じた地域, 状況		
特になし。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
洗濯機にかけた後、部屋干しするスペースがないため乾燥機にかけないといけなため、服が縮むかもしれないという前提で日本から持ってくる衣服を考えるべき。 韓国は市場などで服が安く手に入るため、部屋着やパジャマなどは現地で購入することで渡韓時の荷物が減らせると思う。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	年 月 (当初の卒業予定年月 2025年 3月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	☐ 4年次に留学したため ☐ 単位不足のため ☐ 新卒で卒業するため ☐ その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	広島大学大学院人間社会科学研究科法学・政治学プログラムに在籍中	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学準備と大学院入試の準備が丁度被っていたため、勉学に時間をかけられるように留学準備を早いうちから短期間で集中して取り組むようにした。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
勉強面に関しては、基本的に英語か韓国語で進行する授業なので、留学前に履修を予定している科目の専門用語を予習しておき、頭で日本語の専門用語と結び付けておくことがいいと思いました。日本の大学での授業は主に二コマ (180分) で聴講するだけというスタイルが多いと思いますが、スンシル大学では一コマ (75分) で授業中に先生から質問を投げかけられたりすることもあるので授業の内容をリアルタイムで理解しておく必要があると思いました。また、期末試験がテストだけではなく、テスト+プレゼンテーションといった授業もあり、数十人の前で自らが作成した資料を英語で報告するという授業もあります。私自身、スピーキングには全く自信がなく、発表前までとても億劫でしたが、実際発表してみると達成感を味わえましたし、留学中にとてもいい経験をしたなと思っています。留学生活という非日常の中で、普段だったらやりたくないような難しい事に果敢にトライしてみるのも、今後の自分の自信材料になるかもしれません。 生活面に関しては、韓国は冬に気温が急激に下がるため、風邪をひかないようにすることがとても重要であると思います。私自身、日本と同じくらいの季節変遷だろうと高を括っていましたが、実際、日本とは冬の寒さが全く異なり、体調を壊しました。留学中は慣れない土地ということもあり、体調を崩しやすいと思います。日本のように簡単に病院にアクセスできないと思うので、体調を壊さないように常に意識しておくことが大事です。また、二人部屋等、寮にルームメイトが予定されている人はしっかり生活サイクルを事前に話し合い、根本的なルールを定めておくのが重要だと思います。私は二人部屋で相手は日本人でしたが、言語の違いはなくとも生活サイクルの違いはありました。また、違う部屋の友達は、ルームメイトと生活サイクルが正反対であったことが原因で夜中に大喧嘩をし、部屋の変更を余儀なくされていました。対人関係でのストレスがかからないように、ルームメイトとしっかり生活の折り合いをつけておくことが大事です。 留学生活は、日本では経験することのできないような経験ができ、留学を通じて新たな価値観を得ることができました。留学のチャンスがある方は是非トライしてみてほしいなと思います。		



食べ物



コンサート



キャンパスの雪景色